

はたらくのそばで、
ともに歩む

春季生活闘争NEWS



号外
2026年 春号
2026年6月9日 発行
発行人
連合兵庫
中小共闘センター



連合兵庫HP
連合兵庫 検索

全体は5%台！ 中堅・中小組合の健闘も続く！



第97回兵庫県メーデー神戸中央大会 in メリケンパーク
2026年4月29日(水・祝)

兵庫県メーデー神戸中央大会 那須実行委員長 挨拶(要約)
○26春闘について、300人未満の組合では5%を若干下回りましたが、対前年比よりプラス、連合の「未来つくり春闘」で掲げる、経済の後追いではなく「人への投資」の重要性が共有されたものであったと考えます。
○しかし中東情勢の動向次第では、交渉の障壁となり先行きが見通せない状況であります。民間、官公需含めた適正な価格交渉による価格転嫁ができるよう、働く仲間の賃上げをめざすことも闘いに抜きましょう。



6/4 回答集計結果

○平均賃金方式で回答を引き出した全国4862組合の加重平均(規模計)は1万6518円、5.02%となっており、300人未満の中小組合(3391組合)は、1万2929円、4.70%、額では昨年同時期を下回っています。
○兵庫県においては185組合の加重平均(規模計)1万6551円、5.28%、300人未満の中小組合(138組合)は、1万3561円、4.72%で、全国平均を上回る高水準が続いています。

大阪チタニウムテクノロジーズ労働組合(基幹労連)



6月上旬決着にむけて!

26春闘の要求内容と特徴

○定期昇給は要求に含めず、ベースアップ1万5,000円(4.6%)、一時金160万円(4.5%)を要求。
○特徴：25年度実績と26年度見通しを総合的(業績連動的な考え方)考慮し、物価上昇を踏まえつつも、先行きに不確実性もあり、地域・業界水準に見劣りしないラインを意識。

奥間書記長に聞く

社回を受けて、労組中央闘争委員会と妥結方針案を策定。各職場で意見集約の上、最終判断(妥結・再交渉)し、6月上旬の決着予定。

価格転嫁と人材確保

○価格転嫁の現状は、社内での工事・材料等のコスト上昇が継続しており、価格上昇分は一定程度理解して受け入れている。国内顧客にはコスト増に関しても一定の理解をいただいている。
○人材確保として今年度は高卒5名採用。採用強化にむけ高卒初任給は2024年比で25%以上アップしている。中途・増員計画として年間30名規模の採用も視野。(28年度半場規模拡大に向け人材早期仕込みを加速中)

今後の組合課題

○労働組合が「いま何をしているか」を共有化し、組合員との連携も考え「TUNAGUツナグ」の導入を検討中。
○社内研修や上部団体主催の研修会も活用しながら、役員育成に努めていく。

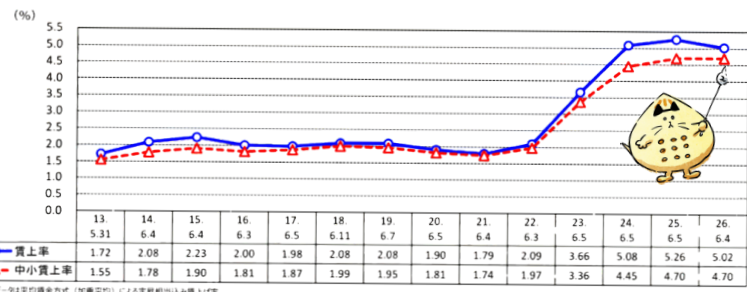
会社側主張・スケジュール

○物価上昇分の賃金改善の必要性は認識。全社的に処遇改善に前向きなスタンス。
○第一回交渉 4月20日・第二回 5月8日・第三回 5月25日の予定

大阪チタニウムテクノロジーズ労働組合

- ▲業種 ▼ スポンジチタン製造等
- ▲執行委員長 ▼ 向 幸太
- ▲組合員数 ▼ 660名
- ▲上部団体 ▼ 基幹労連
- ▲所在地 ▼ 尼崎市

2026春季生活闘争 2013以降の第6回答集計結果の推移



連合兵庫 長谷川事務局長 ひとこと

第6回答集計結果においても、全体で5%以上の賃上げを堅持しています。兵庫においては、中小企業労使の頑張りが見られ全国集計より高い率での結果が出ており、くらしの向上、「人への投資」を起点とした経済の好循環にこだわった労使交渉の結果として評価できると受け止めています。
ただ、中東情勢の影響を受け、減産や操業を停止せざるを得ない企業も出てきています。値上げ圧力が高まる中、適切な価格転嫁・適正取引の取り組みは道半ばであり、本課題は春闘後も継続した取り組みが不可欠です。
先行きは不確実性が高まっていますが、労使交渉の成果が最低賃金議論や人事院勧告へとつながります。引き続き、仲間の成果獲得に一丸となって取り組むとともに、組合があるから交渉できるという労働組合の存在意義を社会に発信していきましょう。